

もうすぐバレンタインデーですね。皆さま、チョコレートの準備はお済みでしょうか。

2月は日本のチョコレートの消費量が年間で最も多くなります。そこで気をつけたいのがチョコレート中毒。アニコム[®]のペット保険の請求（昨年度調査）でも、チョコレート中毒は2月に最も多く発生しています＝グラフ。

犬や猫にはチョコレートは有害です。チョコレートのカカオに含まれるテオブロミンという成分が作用し、嘔吐や下痢などの消化器症状、震えやけいれんなどの神経症状を引き起こし、最悪の場合には死に至ります。

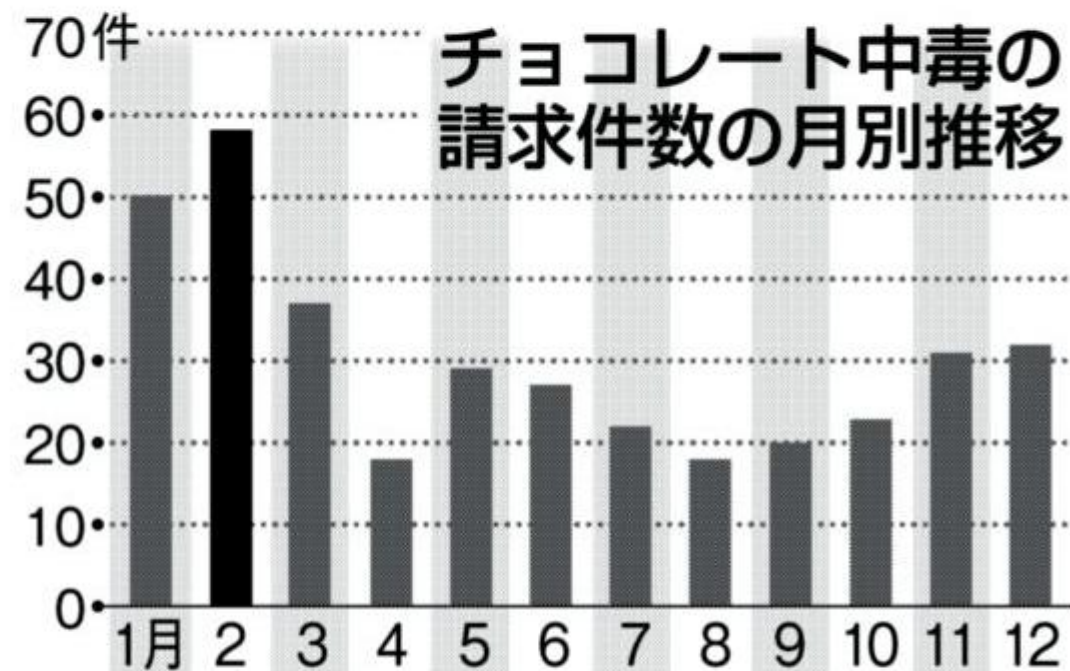
あんしんペットライフ

39

バレンタインデー、チョコに注意！

また、チョコレートの種類によって症状が異なり、カカオの濃度が高い方が中毒症状も強く出るため、ダークやビターなどのチョコは特に気をつける必要があります。

犬の体重と食べてしまった量で危険度を予測できます。万一、誤飲が起きてしまったら、チョコレートの種類と量を確認し、チョコレートのパッケージなどを持って早めに動物病院に連れて行きましょう。体内に吸収される



前に動物病院で処置することで中毒症状を抑えることができます。

せっかくのバレンタイン、悲しい事故が起こらないように気をつけてください。

（アニコム損保

獣医師 井上舞）